

事案書（☒経営会議 ☐調整会議）

開催日：平成25年10月28日（月）

担当課：政策部 政策総務課

件 名：住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（通称：幸せリーグ）への入会について		
提出理由：住民が真に幸福を実感できる地域社会づくりを目的とする当該連合への入会について、了承を得るため		
内 容：		
1. 背景		
・近年、価値観が多様化する中、GDP などの総体的な経済指標だけではなく、個人や世帯の生活の質などに着目して、人々の幸福を測るべきという考えのもと、OECD（経済協力開発機構）が各国の幸福度を明らかにする取り組みを行っている。また、幸福度を国づくりの重要な要素として、政策に取り入れている国家もある。 ・我が国は、現在、急速に少子高齢化が進んでおり、人口の減少も見られる中、財政収支の悪化が拡大するなど、将来への不安が広がっている。 ・内閣府の「国民生活に関する世論調査」によれば、物質的な豊かさよりも心の豊かさを求める回答が年々増加しており、平成 25 年の調査では 60%を超える人々が心の豊かさを求めている。 ・こうした中、平成 25 年 6 月に、荒川区が事務局となって、住民が真に幸福を実感できる地域社会づくりを目的とする「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合（以下「幸せリーグ」と言う。）」が設立された。		
2. 入会の目的等		
・本市では、「健康創造都市 やまと」を将来都市像とする第 8 次総合計画を策定し、「人」、「まち」、「社会」の 3 つの領域を健康にすることが、都市そのものを健康にしていくという考えのもと、種々の施策を展開してきた。 ・このため、健康創造都市の実現に資するような幸福実感向上の施策等の情報を得ることを目的に、幸せリーグに入会する。		
3. 活動内容		
(1) 幸福度に関する情報共有等		
・幸せリーグに入会する市町村間で、幸福度に関する研究や住民の幸福実感向上に向けた施策等の情報交換及び意見交換を行う。 ・幸福度に関する研究や住民の幸福実感向上に向けた施策等を全国に発信することで、基礎自治体における幸福度に関する取り組みを広める。		
(2) 職員の育成		
・幸せリーグにおける調査研究、意見交換、交流などを通じて、住民の幸福実感向上に携わる職員の育成を図る。		
(3) 会議の開催		
・総会（年 1 回）、実務者会議（年 2～3 回）の開催		
4. 加入自治体の状況		
56 市区町村（平成 25 年 9 月 15 日現在）		
ブロック	該当地域	自治体名（抜粋）
第 1	北海道	北見市、釧路市、北広島市など
第 2	東北	むつ市、米沢市、二本松市など
第 3	関東	※荒川区、秩父市、つくば市など
第 4	北陸	三条市、南砺市、加賀市など
第 5	東海、甲信	北杜市、大垣市、豊田市など
第 6	近畿（三重県含む）	松阪市、草津市、京丹後市など
第 7	中国、四国、九州	防府市、佐賀市、霧島市など
※会長		
経 過		
H25. 6 設立総会の開催		
H25. 7 第 1 回実務者会議の開催		
今後の予定		
H25. 10 幸せリーグ入会申込書の提出		
H25. 11 幸せリーグの役員会における入会の承認		